

区議 レポート 17

2013年9月1日 No.17
 発行 菊地靖枝・きみがき圭子・橋本けいこ
 〒176-0001 練馬区練馬1-15-1堀越ビル303
 TEL 03-3948-6408 FAX 03-5999-4632
 Eメール net-gikai@jcom.home.ne.jp

練馬・生活者ネットワーク区議会議員

菊地 きみがき 橋本 けいこ

靖枝



圭子



けいこ



練馬駅北口複合ビルはカネ喰い虫!?

練馬駅北口でビル建設が進んでいます。私たちは、区民ひろばであったこの土地は、「防災」と「みどり30推進計画」のための緑豊かなひろばとして残すべきと主張してきました。建物ができつつある今、新たにこのビルの一部に設置される区施設は、区民生活を支える役割を果たせるのか、おおいに疑問です。

公募しないのは ヘンだ!?

3階の区民・産業プラザは、「練馬区産業振興公社」に管理を任せることを区が決めました。公募しないで選定するために、「指定管理者制度の適用に係る基本方針」を変えてしま

ズルズル増える 区民負担

区が区内の産業経済団体に働きかけ、自らも参加して設立した「外郭団体」なのです。指定管理者が正式に決まるのは12月議会です。

産業振興よりも 子育て支援を

4階には認証保育所や一時預かりを主とした子ども家庭支援センター分室などが入ります。産業振興部分に比べ、ほんの付け足し程度のスペースしかありません。また、防災・防犯の観点

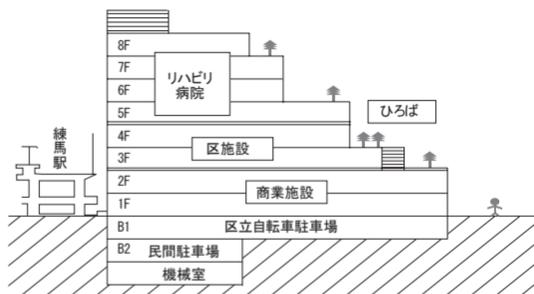
点からも、保育環境としては心配な面があります。

子ども家庭支援センターには、親子が交流し、気軽に相談できるひろば事業が必要です。しかし、計画の中にその機能はありません。

西側の外階段を明確な理由もなく、エスカレーターに変更したために、契約金額と修正予算の増額が、9月議会の議案となります。

すでに昨年3月に、区施設と共用部分の買取価格を約21億円に契約しています。開設後の管理費の増額も見込まれ、ズルズルと区民負担が増えていくのは明らかです。

また、2階のテナントは10月頃には決まるとしていますが、決まらなかつた場合、区の負担がさらに増すことが危惧されます。



50年の定期借地権で練日立キャピタルが建て、区は3・4階と共用の一部を「公共施設」として買い取る

区議会議員
きくち やすえ
菊地 靖枝

議会運営委員会
企画総務委員会
総合・災害対策等
特別委員会
http://kikuchi.seikatsusha.net

アンケートの
お願い

下記部分を切り取り、郵送してください。
 または、FAXやE-mailでもご意見をお寄せください。
 FAX番号：03(5999)4632
 E-mail：net-gikai@jcom.home.ne.jp

郵便はがき

1 7 6 0 0 0 1

切手を貼って
ください

練馬区練馬 1-15-1
堀越ビル 303

生活者ネットワーク
区政調査室 行

●みなさまの声を寄せください
 (まとめを行う関係上9月末までお願いいたします。)
 Q1 税金のムダ使いと感じることはありますか？

Q2 練馬区では、来年度の予算の編成中です。ご意見があればお寄せください。

さしつかえなければ、ご記入ください。情報をお届けします。

お名前	TEL (自宅・携帯)
ご住所 〒	

シリーズ 議会改革

外郭団体も決算特別委員会でチェック

区が出資や補助金支給、職員派遣を行っている外郭団体の事業について、今までは、当該委員会での質問に担当する区の職員が答弁していました。

しかし、今回試行として、外郭団体の事務局長等が、全議員が出席する決算特別委員会で、「外郭団体の経営状況等の書類」についての質疑に応じることになりました。私たちは、その目的である「団体経営の透明化」と「適切な運営」をチェックしていきます。

対象となる団体

- 一般社団法人練馬区産業振興公社 (旧一般社団法人ねりまファミリーパック)
- 一般社団法人練馬区観光協会
- 社会福祉法人練馬区社会福祉協議会
- 社会福祉法人練馬区社会福祉事業団
- 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社
- 江古田駅整備株式会社
- 公益財団法人練馬区文化振興協会
- 公益社団法人練馬区シルバー人材センター
- 公益財団法人練馬区障害者就労促進協会
- 一般財団法人練馬みどりの機構

議会では共同会派「生活者ネット・市民の声・ふくしフォーラム」を結成しています。

子ども・子育て会議 はじまる

区議会議員 きみがき圭子



議会運営委員会
文教児童青少年委員
会/交通対策等
特別委員会
http://kimigaki.sei
katsusha.net

「子ども・子育て関連3法」の成立を受けて、練馬区でも子ども・子育て会議が設置されました。これは、幼児教育・保育・子育て支援の質・量の充実に図るために、2015年度から実施される支援事業計画策定に向けて、幅広く意見を聞くことを目的としています。

会議は15人の委員で構成され、このうち5人は乳幼児・小学生の保護者から公募で選ばれました。その他10人は事業責任者、有識者、保育園・幼稚園関係者です。

10月に実施予定のニーズ調査は、地域で必要な支援の情報を集める重要な調査で、子育て中の家庭だけでなく、独身者や子どものいない世帯、子育て終了の世帯、さらには中高生も対象になります。練馬区でも保育所や学童クラブの待機児童の解消が緊急課題となっています。また、子どもの貧困や虐待と、その背景にある家庭環境も年々深刻な状況になっている中で、この調査を形だけのものに終わらせずに、一人一人の声をしっかりと受け止めなければなりません。区が作った「たつき台」に賛成するだけの会議ではなく、子どもの最善の利益を最優先にした十分な議論

の場にすべきです。この計画に区民の声を反映させるために、会議を傍聴して意見を出していきましょう。

今後の予定

2013年	10月	ニーズ調査
2014年	3月	支援事業計画の素案策定・パブリックコメント
	6月	支援事業計画策定
2015年	4月	本格施行

子宮頸がんワクチン問題 練馬区では

区議会議員 橋本けいこ



健康福祉委員会
清掃リサイクル等
特別委員会
http://khashimoto.
seikatsusha.net

区内の重篤被害 認めず

3月に組織された「子宮頸がんワクチン被害者連絡会」には、全国の女子中高生から約2千件の「身体中の痛み」や「手足の震えやけいれん」などの報告がありました。これを受けて、生活者ネットワークは国に接種中止を求めました。6月、厚労省はワクチンの影響による因果関係を否定できないとして、「積極的に接種をすすめることは中止するよう」通達しました。

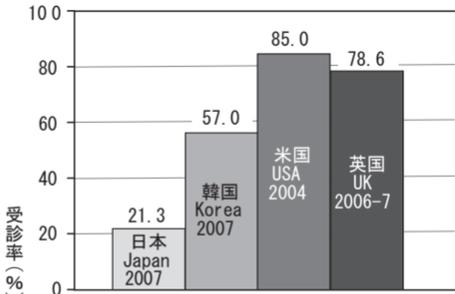
区は、2年前からの任意接種に続き、4月からは法定接種として、中学1年生に接種票を送付、無料接種をすすめてきました。3月、練馬区での重篤被害が厚労省に報告され、マスコミでも報道されましたが、議会に対し「区内に重篤被害はない」と説明して

きました。学校を長期欠席するほどの健康被害があったのに、保護者からの聞き取りだけで、実際の症状を把握せず、その後の親身な相談やフォローもしませんでした。被害者の生活に大きな影響を及ぼす副反応には未だ治療法が確立しておらず、早急な説明と速やかな補償などの支援体制が必要です。しかし、区では危機感がなく動く気配はありません。

子宮頸がん予防 これから

子宮頸がんは、定期的な検診で異常や初期がんを発見できますが、区の検診受診率は20%にも届きません。もっと

子宮頸部のがん検診受診率の国際比較 (国立がんセンターがん対策センター)



INFORMATION

第3回定例区議会
(決算特別委員会を含む)
【9月6日～10月16日】
ぜひ、傍聴に来てください。

【問合せ先】
生活者ネットワーク区政調査室
TEL: 3948-6408
FAX: 5999-4632

- 生活者ネットワークのルール**
1. 議員を職業化せず、特権化しないために議員は原則2期8年でローテーション(交代)します。
 2. 議員報酬は市民の政治活動資金として活かせます。お金の流れは公開します。
 3. 選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

編集後記 ひろばに集う人たちの気配、それは、のんびりゆったり、笑い声……ではなく、せつせと働く重機のエンジン音と機材の触れ合う金属音、誘導のための笛の音。将来、ここには誰が集うんでしょう。(む)

審議会・協議会から

まだまだもめてる関越高架下
～沿道住民の声なき「懇談会」～

関越自動車道高架下活用施設建設懇談会が開催されています。

高齢者センター、リサイクルセンター、スポーツ関連スペース、地域交流スペース、倉庫の4部会に分けて施設整備について検討しています。

高齢者センター部会の区民公募は5人枠に11人が応募しましたが、沿道住民は選定されず、不透明な選考方法や一方的な会の運営は問題です。

区が作成した計画図を基に、どんどん話がすすめられ、大きく賛否が分かれているにもかかわらず、合意形成の努力をしない区の姿勢は許せません。

関越自動車道高架下の大泉高齢者センター建設予定地